

世帯消費動向指数（CTIミクロ）の 算出方法及び 公表系列等の改善について

令和5年6月23日

総務省統計局

目次

1. CTIミクロの今後の改善について
2. 参考詳細表の算出方法の改善について
3. 公表系列等の改善について
4. 今後のスケジュール

目次

1. CTIミクロの今後の改善について
2. 参考詳細表の算出方法の改善について
3. 公表系列等の改善について
4. 今後のスケジュール

消費動向指数（CTI）の概要

ビッグデータ等を活用し、消費動向をマクロ・ミクロの両面から捉える速報性の高い消費指標の体系：消費動向指数（CTI：Consumption Trend Index）を新たに開発し、

- 2018年1月分から参考指標として公表開始
- 2021年7月分公表時に、2020年基準改定を実施

世帯消費動向指数 （CTIミクロ）

世帯の平均消費支出額（10大費目別、世帯類型別など）の月次動向を示す統計指標

- ◆ 家計調査（標本規模：二人以上の世帯 約8千、単身世帯 約7百）の結果を、
 - 家計消費単身モニター調査（標本規模：2千4百）
 - 家計消費状況調査（標本規模：約3万）の結果等と統計的手法によって補正・補強し、標本規模を擬似的に拡大、推計精度を向上



総消費動向指数 （CTIマクロ）

国内経済における個人消費総額（GDPにおける家計最終消費支出）の月次動向を示す統計指標

- ◆ GDP統計（家計最終消費支出）をターゲットとして、最新の動向を推測
- ◆ GDP統計の四半期別公表値では観測できない月次の値を時系列回帰モデルによって推計
- ◆ 2022年12月に、ビッグデータ利活用の成果に関する報告書をウェブサイトに掲載

CTIミクロの今後の改善について

CTIミクロについては、誤差集計の手法を確立したほか、2020年基準改定において合成方法を改善するなどにより、精度向上を図り、一定の成果を得たところ。

今後は、これまで準備を進めてきた参考詳細表の算出方法の改善を行うほか、小分類別増減率及び寄与度の参考詳細表を追加するなど、参考詳細表を拡充し、公表系列についても改善を図る。

目次

1. CTIミクロの今後の改善について
2. 参考詳細表の算出方法の改善について
3. 公表系列等の改善について
4. 今後のスケジュール

CTI ミクロの公表系列

CTIミクロでは指数及び増減率の結果表に加え、参考詳細表で合成金額を公表している。

CTI ミクロの結果表（指数、増減率）

系列・区分		世帯の種類 原数値、季節調整値	総世帯				二人以上の世帯				単身世帯	
			原	季	勤労者		原	季	勤労者		原	季
基本系列	消費支出	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	10大費目	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	財・サービス	◎		◎		◎		◎		◎		
調整系列※	消費支出	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
	10大費目	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
	財・サービス	◎		◎		◎		◎				

◎：名目値及び実質値を表章

品目別支出金額の参考詳細表（合成金額）

系列・区分		世帯の種類	総世帯		二人以上の世帯		単身世帯
			勤労者		勤労者		
品目別	世帯人員別		○	○	○	○	
	世帯主の年齢階級別		○	○	○	○	
	男女・年齢階級別						○

○：名目値を表章

※ 調整系列とは、世帯主の年齢階級の分布と世帯人員の分布を基準年で固定して算出した世帯消費動向指数で、総世帯及び二人以上の世帯の消費支出の推移に含まれる、世帯構造（年齢や人数など）の変化の影響を除去した消費動向を示している

CTI ミクロの公表系列 (続き)

基本系列、 調整系列

10大費目別及び
財・サービス分類別の
指数値及び増減率を
表章

第1-1-1表 10大費目別 世帯消費動向指数 (原数値)

総世帯												
月	名目 Nominal											
	消費支出	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	その他の消費支出	
2017年 1月	103.3	25.3	6.6	8.7	3.7	4.6	4.4	16.1	-	10.1	-	
2月	94.9	23.7	7.2	9.2	3.0	3.0	4.5	16.0	-	9.6	-	
3月	111.8	26.8	7.8	8.8	3.6	4.4	4.7	21.2	-	11.3	-	
4月	107.8	26.0	7.5	8.1	3.4	4.3	4.5	17.3	-	11.2	-	
5月	102.9	27.3	7.8	7.0	3.9	4.3	4.6	16.9	-	10.8	-	
6月	97.3	25.8	7.9	6.3	4.0	3.7	4.7	16.4	-	10.3	-	
7月	102.0	27.3	8.1	6.0	5.2	4.2	4.6	17.4	-	10.7	-	
8月	103.0	28.9	7.4	6.6	4.4	3.1	4.5	16.4	-	12.3	-	
9月	99.4	26.0	7.7	6.5	3.8	3.2	4.4	17.0	-	10.1	-	

参考詳細表

世帯主の年齢階級別
及び世帯人員別に
品目別支出金額を表章

第2表 世帯主の年齢階級別 1世帯当たりの品目別支出金額

合成金額 総世帯

品目分類	平均	(再掲)						
		～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	65歳～
消費支出	255,575	195,992	250,516	296,675	300,791	273,266	212,588	223,608
食料	63,977	43,168	61,242	71,273	70,306	69,720	58,510	60,754
穀類	4,551	2,230	4,276	5,174	5,208	4,967	4,190	4,382
米	1,117	496	940	1,118	1,278	1,214	1,164	1,175
パン	2,033	996	1,921	2,355	2,335	2,233	1,830	1,943
食パン	623	231	543	655	669	692	650	669
他のパン	1,410	765	1,378	1,700	1,666	1,541	1,180	1,275
麺類	1,075	558	1,108	1,303	1,271	1,177	881	941
生うどん・そば	227	91	208	246	241	254	229	237

基本系列、調整系列及び参考詳細表の合成区分

2015年基準では、世帯の種類（総世帯、二人以上の世帯、単身世帯）ごとに、家計調査結果（単身モニター調査含む）と家計消費状況調査結果を一律の合成比率で合成していたが、2020年基準では**世帯人員×年齢階級の区分別に合成することとした**。また、その合成区分は、以下のとおり設定した。

基本系列、調整系列

毎月、一定のサンプルサイズが見込めるよう、右図のような区分とした。

※ 全世帯の合成区分であり、勤労者世帯の合成区分はこれとは異なる

		世帯人員6区分					
		単身		2人	3人	4人	5人以上
		男	女				
年齢階級6区分	～39歳						
	～49歳						
	～59歳						
	～69歳						
	～79歳						
	80歳以上						

参考詳細表

参考詳細表の表章区分に合わせ、右図のような区分とした。

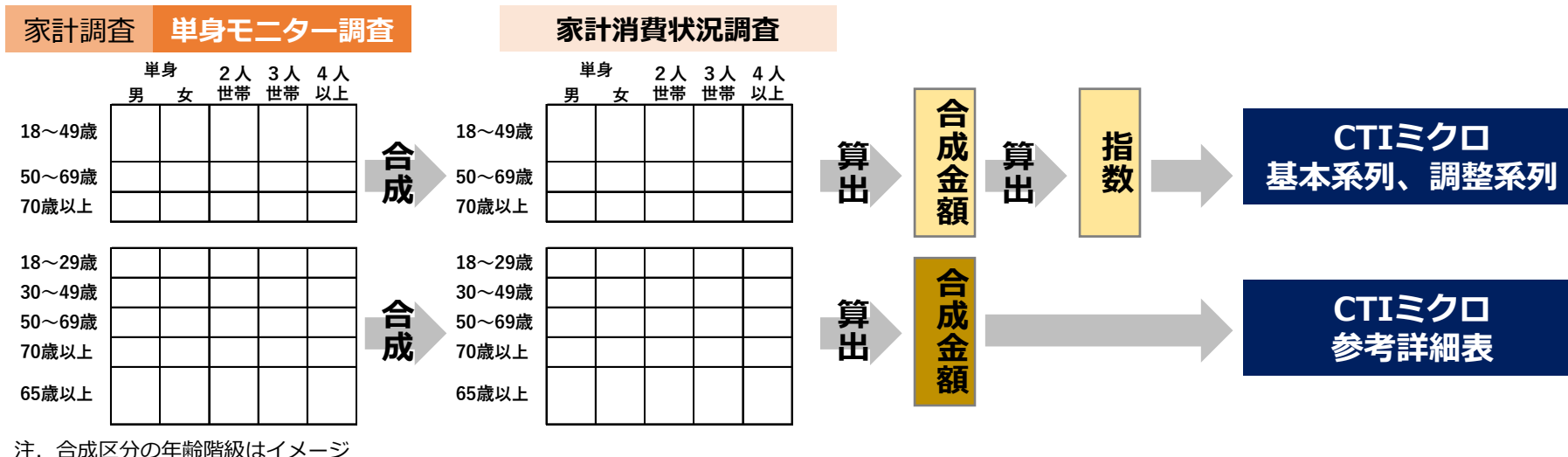
		世帯人員6区分					
		単身		2人	3人	4人	5人以上
		男	女				
年齢階級8区分	～29歳						
	～39歳						
	～49歳						
	～59歳						
	～69歳						
	～79歳						
	80歳以上						
	65歳以上						

※ 図中、黄色部分は合成区分が異なる箇所

参考詳細表の算出方法の改善について

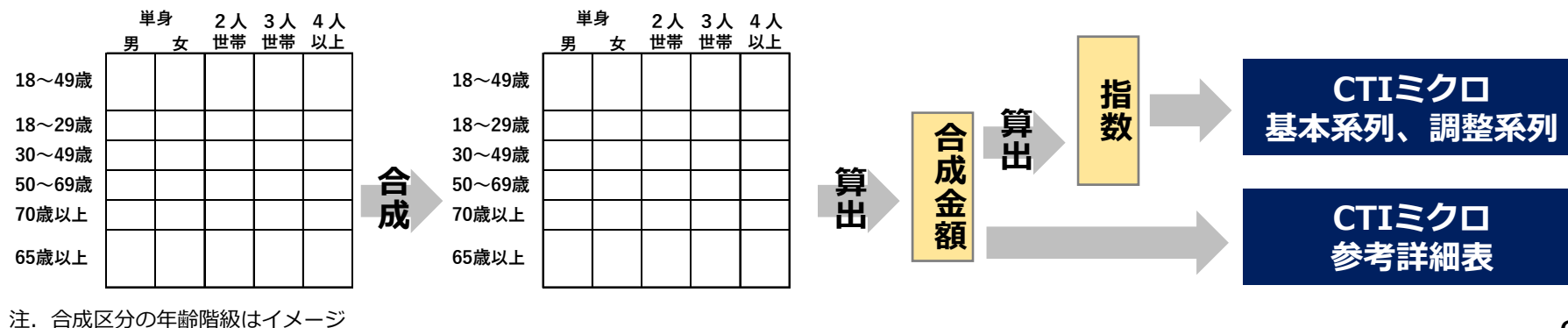
現行

参考詳細表の合成金額と、指数算出用の合成金額を別々に算出



変更後

加重平均の合成区分を参考詳細表と指数算出で統一することにより合成金額が一致する。本変更は2024年1月分から実施



目次

1. CTIミクロの今後の改善について
2. 参考詳細表の算出方法の改善について
3. 公表系列等の改善について
4. 今後のスケジュール

公表系列等の改善について

参考詳細表の算出方法の改善をふまえ、以下のとおり参考詳細表を拡充するなど、公表系列等の改善を進めていく。

- 小分類別増減率及び寄与度を追加
- 財・サービス分類を追加
- 参考詳細表の結果を時系列CSVでも提供

小分類別増減率及び寄与度の参考詳細表の追加

小分類別増減率及び寄与度を掲載した参考詳細表を、2024年1月分から追加

追加する参考詳細表（イメージ）

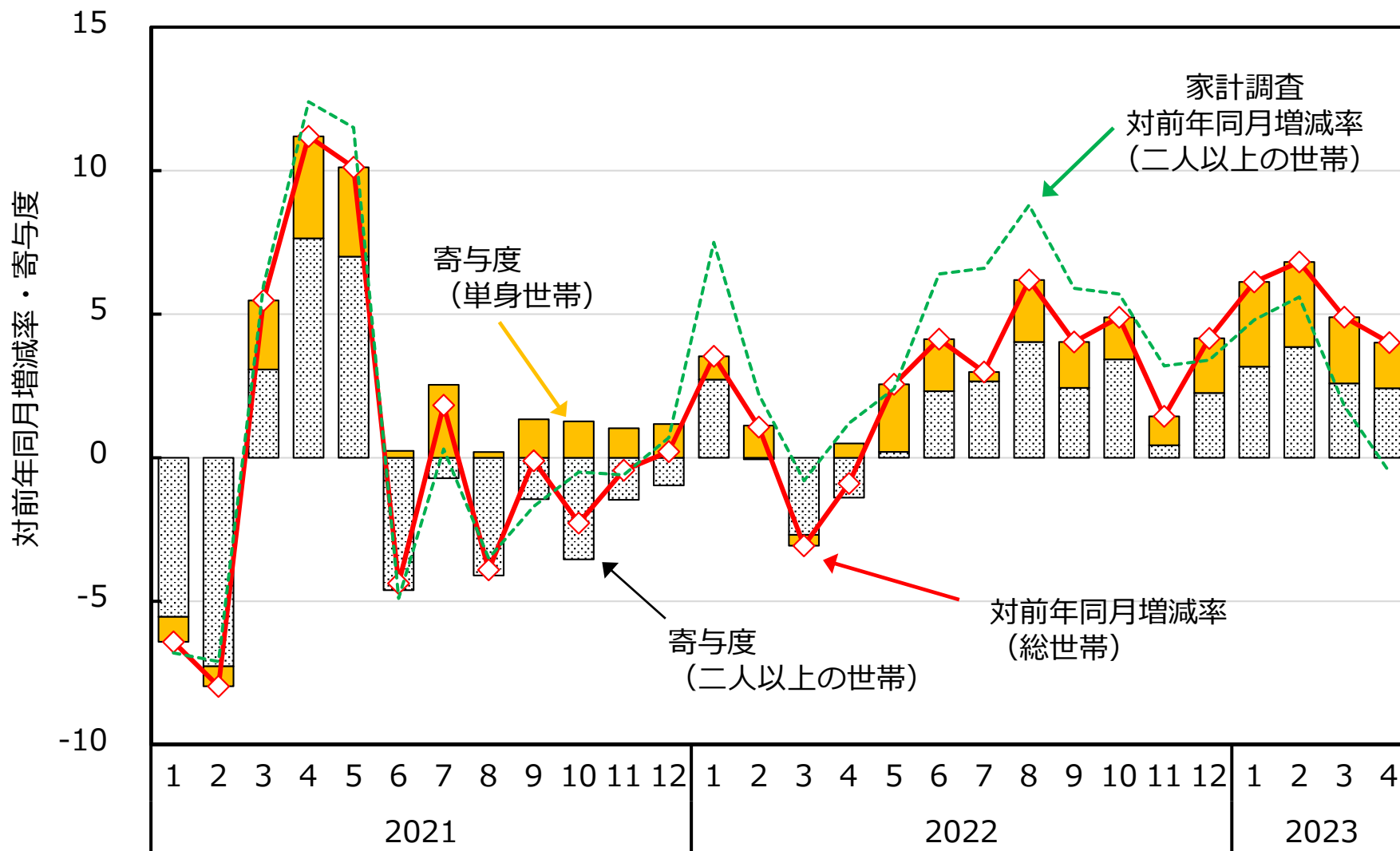
世帯の種類別1世帯当たり小分類別支出金額の対前年同月増減率（%）

品目分類	名目								実質							
	総世帯		うち単身				うち2人以上		総世帯		うち単身				うち2人以上	
	増減率	寄与度	増減率	寄与度	総世帯に対する寄与度	増減率	寄与度	総世帯に対する寄与度	増減率	寄与度	増減率	寄与度	総世帯に対する寄与度	増減率	寄与度	総世帯に対する寄与度
消費支出	1.8	1.8	1.8	1.8	0.54	1.8	1.8	1.25	-1.9	-1.9	-1.9	-1.9	-0.57	-1.9	-1.9	-1.33
食料	5.4	1.35	5.4	1.35	0.41	5.4	1.35	0.95	-2.2	-0.54	-2.2	-0.54	-0.16	-2.2	-0.54	-0.38
穀類	0.2	0.00	0.2	0.00	0.00	0.2	0.00	0.00	-6.4	-0.13	-6.4	-0.13	-0.04	-6.4	-0.13	-0.09
米	-4.6	-0.02	-4.6	-0.02	-0.01	-4.6	-0.02	-0.02	-7.0	-0.04	-7.0	-0.04	-0.01	-7.0	-0.04	-0.03
パン	3.1	0.03	3.1	0.03	0.01	3.1	0.03	0.02	-4.1	-0.04	-4.1	-0.04	-0.01	-4.1	-0.04	-0.03
麺類	-0.4	0.00	-0.4	0.00	0.00	-0.4	0.00	0.00	-10.9	-0.06	-10.9	-0.06	-0.02	-10.9	-0.06	-0.04
他の穀類	1.1	0.00	1.1	0.00	0.00	1.1	0.00	0.00	-3.9	-0.01	-3.9	-0.01	0.00	-3.9	-0.01	-0.01
魚介類	2.4	0.05	2.4	0.05	0.01	2.4	0.05	0.03	-11.6	-0.22	-11.6	-0.22	-0.07	-11.6	-0.22	-0.15

➡ C T I ミクロは、単身世帯を含む総世帯の結果を月次で公表しており、**総世帯に対する世帯の種類別の寄与度分析を、月次で行うことが可能**

小分類別増減率及び寄与度の参考詳細表の追加（続き）

CTIミクロ（総世帯）消費支出（名目）対前年同月増減率（%）



財・サービス分類の参考詳細表への追加

財・サービス分類別の合成金額を各参考詳細表※に2024年1月分から追加

財・サービス分類を追加した参考詳細表（イメージ）

第2表 世帯主の年齢階級別1世帯当たりの品目別支出金額

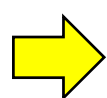
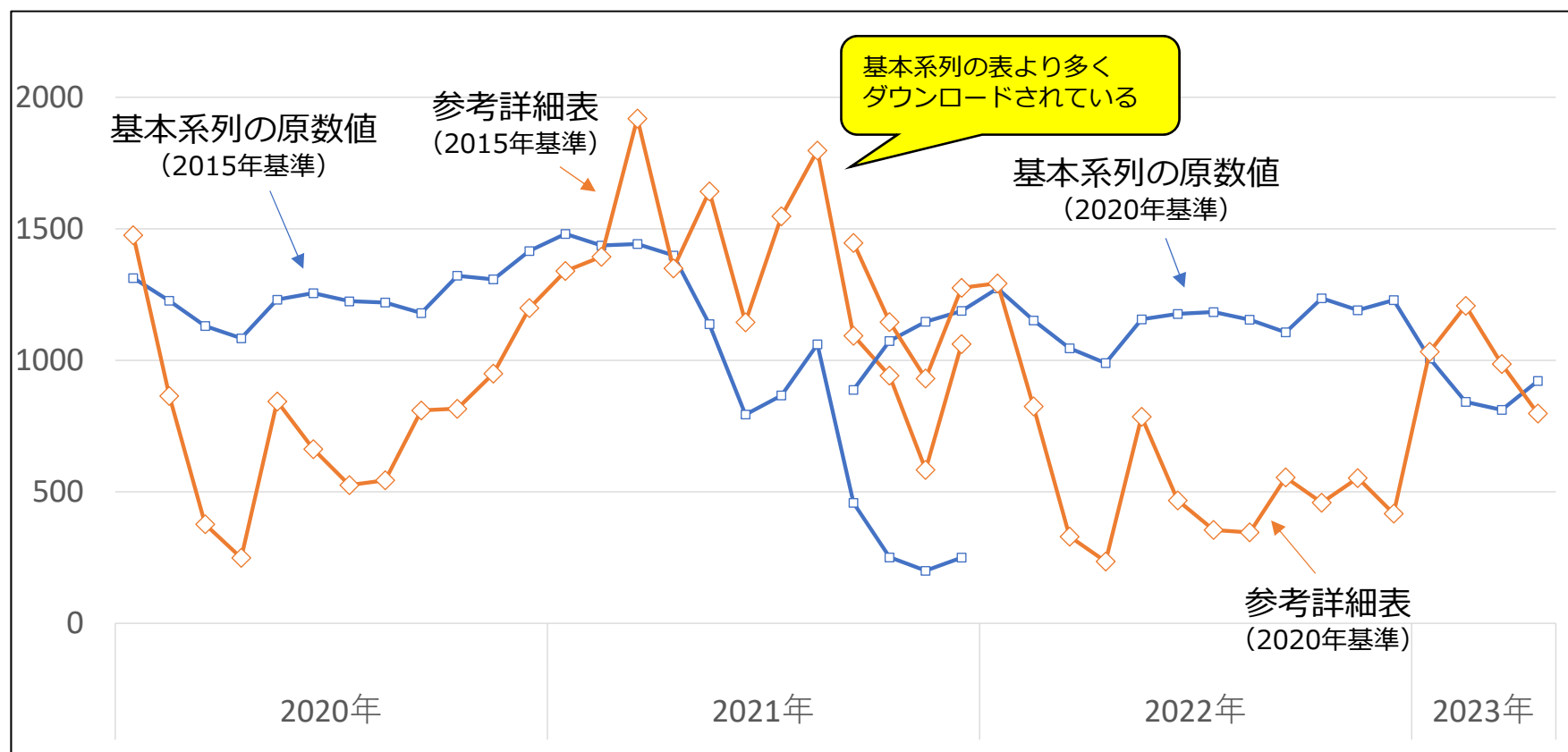
合成金額 総世帯

品目分類	平均	～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	(再掲) 65歳～
消費支出								
食料								
穀類								
米								
パン								
食パン								
：								
他の負担費								
仕送り金								
財・サービス支出計								
財（商品）								
耐久財								
半耐久財								
非耐久財								
サービス								
食料								
非耐久財								
サービス								
住居								
耐久財								
：								

※ 現在公表している品目別支出金額の参考詳細表（世帯人員別、世帯主の年齢階級別、男女・年齢階級別）に追加するほか、新たに追加する小分類別増減率及び寄与度の参考詳細表にも掲載する

参考詳細表の時系列CSVファイルの追加

基本系列及び参考詳細表の結果表（エクセル）ダウンロード数



一定数のダウンロードが見られる参考詳細表について、時系列データを、CSVの時系列ファイルで公表することを検討

目次

1. CTIミクロの今後の改善について
2. 参考詳細表の算出方法の改善について
3. 公表系列等の改善について
4. 今後のスケジュール

今後のスケジュール

CTIミクロの改善等について、以下のとおり検討を進める。

2024年3月 参考詳細表の算出方法及び公表系列の改善 (2024年(令和6年)1月分結果より)

これらの改善のほか、状況を見ながら、月次の総世帯結果を中心に、公表内容の拡充を目指す。
あわせて、リソース確保の観点から、公表系列等の整理についても検討を進めていく。